

□ 要請番号 (NJ30922A22)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
ブラジル	G157 日本語教育		日系	交替 4代目	2年	・2022/4・2023/1・ 2023/3



【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

アラサツーバ日伯文化協会

2) 配属機関名 (日本語)

アラサツーバ日本語普及センター(日本語モデル校)
日系社会

3) 任地 (サンパウロ州アラサツーバ市) JICA事務所の所在地 (サンパウロ市)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (バス で 約 9.0 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

配属先協会は1928年に設立され、現在の会員数は約800家族。文化部、学務部、園芸部、体育部等10の部局から構成されている。主に地域日系人の親睦・文化継承を目的とし、芸能祭、カラオケ大会、陸上大会、敬老会、うどん会等の行事を定期的で開催している。配属機関は1993年にJICAが支援する日本語普及の拠点校に指定され、2002年には外務省草の根無償資金協力でコンピュータ教室が設営された。日本語モデル校にはこれまで計13名のJICA海外協力隊が派遣され、直近では2020年1月から隊員が派遣されていたが、2020年3月にコロナ禍を受けて帰国した。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

日本語学校がJICA指定のモデル校となった1993年当時は約250名の生徒が在籍していたが、日本語学習の意欲低下等により一時は生徒数が30名程まで落ち込んだ。しかし現地教師の地道な広報活動により数年前から生徒数は増加、コロナ禍前には約140名まで増え、現在も85名が在籍している。保護者からは会話力向上を期待されており、現地教師の能力向上と日本語ネイティブの隊員による指導が必要であり、前任の隊員が会話クラスや習字クラスを実施していたが、コロナ禍による帰国のため活動は停止し、後任の派遣が望まれている。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

同僚教師と協力して以下の活動を実施する。

1. 文法・会話指導を中心とした日本語の授業を行う(初級～上級、5日/週)
2. 隊員の得意な方法で音楽の授業を行う。
3. 配属先協会、また学校行事の運営に参加、協力する。
4. 地域の教師勉強会に参加し、経験や知識を共有する。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

教室5部屋、図書室、漫画図書室、ビデオルーム、テレビ、プロジェクター、コンピュータ、プリンター、コピー機、日本語教材(『まるごとA1・A2』他)、ピアノ、譜面台、卓球台等

4) 配属先同僚及び活動対象者

【配属先同僚】

現地常勤教師1名(女性40歳代、指導歴17年、能力試験N1レベル)、非常勤教師1名(40歳代、指導歴17年)事務員1名(女性)
【活動対象者】
学習者約85名(3～6歳14名、7～11歳18名、12歳～17歳37名、18歳～59歳34名、60歳以上20名)

5) 活動使用言語

ポルトガル語

6) 生活使用言語

ポルトガル語

7) 選考指定言語

英語(レベル:D)

【資格条件等】

[免許]：(日本語教育に関する資格)

[学歴]：() 備考：

[性別]：() 備考：

[経験]：(実務経験) 2年以上 備考：授業を担当するため

[参考情報]：

- ・音楽の指導を期待されている

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：(熱帯雨林気候) 気温：(5～40℃位)

[電気]：(安定)

[通信]：(インターネット可 電話可)

[水道]：(安定)

【特記事項】